

やってみよう！

調べたことや学んだことをもとに、じぶんの未来のためにこれから取り組んでいきたいことを書いてみよう！！

自然共生

脱炭素

資源循環

発行者：芦屋市 市民生活部 環境・経済室 環境課
発行日：令和7（2025）年3月

第4次芦屋市環境計画

今日からは始めるためのガイドブック

じぶんたちが学んで、できることってなんだろう？

これからも続けること
これからは始めること
「わたし・まち・自然」
の未来のために

第4次芦屋市環境計画は、「学びと共創」という
みんなで一緒に学んで、みんなで一緒に創っていくことを
キャッチフレーズにして、目指すべき「まちの環境」について書いています。
このガイドブックを参考にしながら今日から一緒にはじめませんか？



自然共生

■自然共生ってなに？

私たちの生活は、いろいろな自然に支えられています。その自然を大切にしながら生活をしていくことが「自然と共生する」ということです。つまり、多様な自然を守ることが、私たちの生活を豊かにしてくれます。

■芦屋市ってどんなところ？

六甲山から大阪湾までの南北に細長い高低差のある地形は、芦屋市の特徴となっています。また、芦屋川と宮川は山や海の自然とまちを南北に繋いでおり、水と緑が一体となった川沿いは、自然を身近に感じられる空間となっています。



調べてみよう！

「自然共生」について参考になる情報をのせていますので、調べてみましょう！！

01 まち散歩をたのしもう！

市内を散歩したりハイキングするときは、「芦屋の自然」や、芦屋市案内マップを、ぜひ確認してみよう！



02 芦屋のチョウを探してみよう！

芦屋で見ることができるたくさんの種類のチョウを紹介していますので、近くの公園や芦屋川に遊びに行った時には、チョウや幼虫を探してみよう。



03 芦屋で星空を見よう！

まちなかでは、街灯のあかりなどの光で空が明るくなり、星が見えにくくなっています。芦屋の空でどんな星が見えるのか、なぜ見えにくくなっているのか、星をながめながら環境のことを考えてみよう。



04 自然を回復させよう！

今の地球は、すごい速さで生き物が絶滅している「ネガティブ」の状態にあります。これを2030年までに生物の種の数が増え、回復していく「ポジティブ」な状態にしていく、それが「ネイチャーポジティブ」！



だいだらポンズー



脱炭素

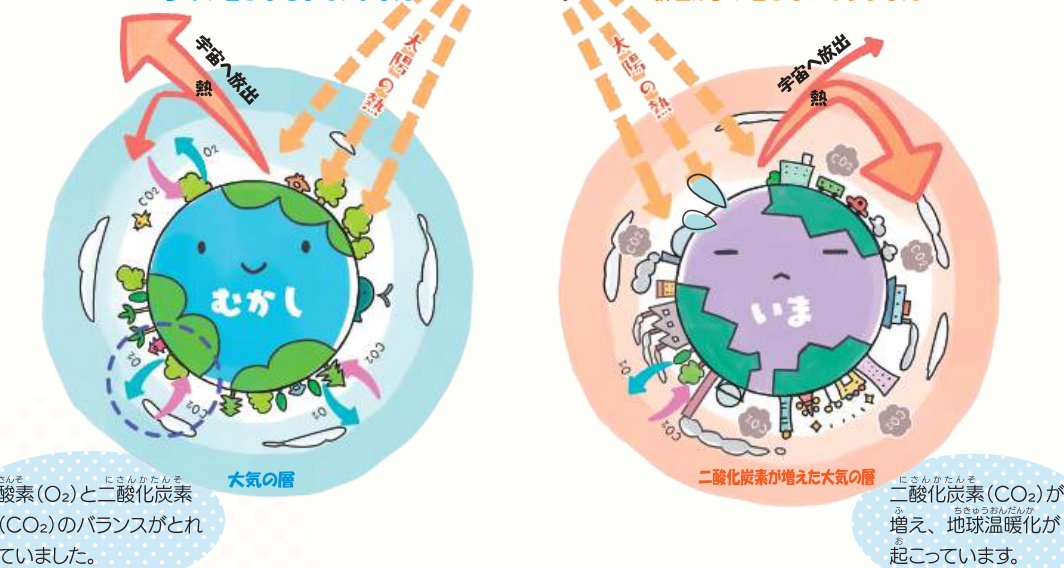
■地球温暖化ってなに？

地球温暖化とは、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが増えすぎること、地球全体の気温が上がってしまうことです。すでに、食べ物や自然、災害、健康など私たちの生活にも影響が出ており、気温が上がり続けるとその影響は大きくなってしまいます。

温室効果ガスは、地球の表面から出る熱を吸収して、地球の温度を保つ働きをもった気体です。増えすぎると、余分な熱が地球に残り、地球が温められてしまいます。

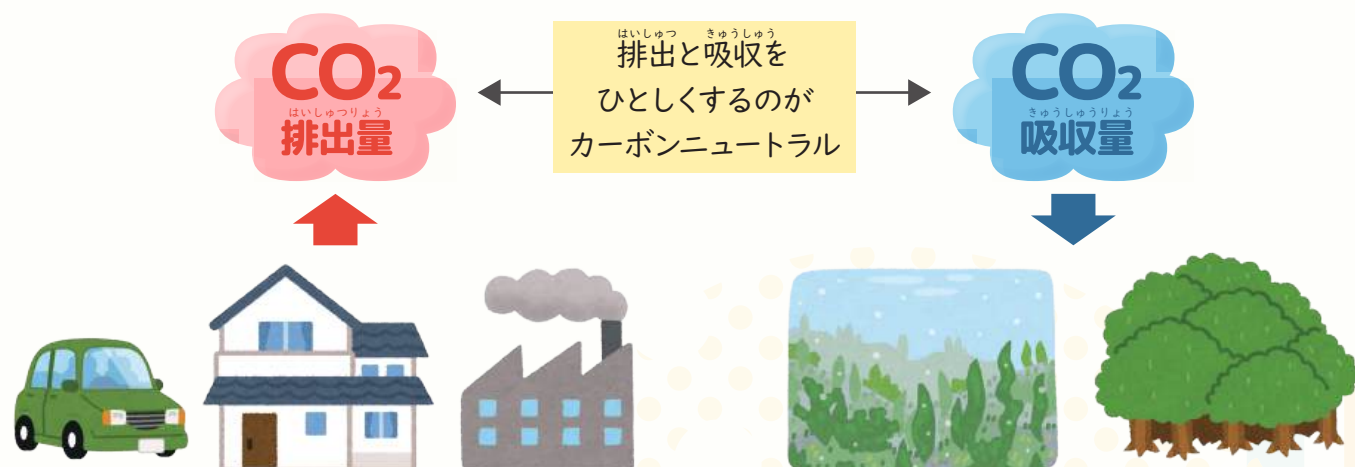
昔は、二酸化炭素の排出が少ない暮らしをしていました

工場や自動車が増えて、二酸化炭素の排出が多い暮らしになりました



■地球温暖化を止めるためには？

地球温暖化を止めるためには、温室効果ガス排出量が実質ゼロの「カーボンニュートラル」な世界にしていくな必要があります。芦屋市でも、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指して取り組んでいます。



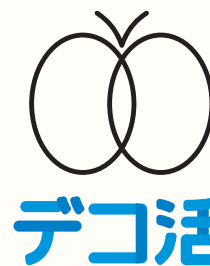
調べてみよう！

「脱炭素」について参考になる情報をのせていますので、調べてみましょう！！

01 地球のことを考えてみよう！

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」、通称“デコ活”！！

一人ひとりの日ごろの小さな取組が地球を変えることにつながります。地球のこと、暮らしのことを考えてみよう。



02 気候変動って何？

近年、ものすごく暑い日が増えたり、極端な大雨が増えたりするなど、「気候変動」が起っています。その原因が「地球温暖化」です。「気候変動」の問題を解決するためにはどうすればいいか考えてみよう。



03 温暖化が進むとどうなるの？

このまま気温が上がり続けると、外で遊ばなくなったり、好きなものが食べられなくなったり、今住んでいるところに住めなくなったりするかもしれません。



04 再エネで電気をつくり出す！

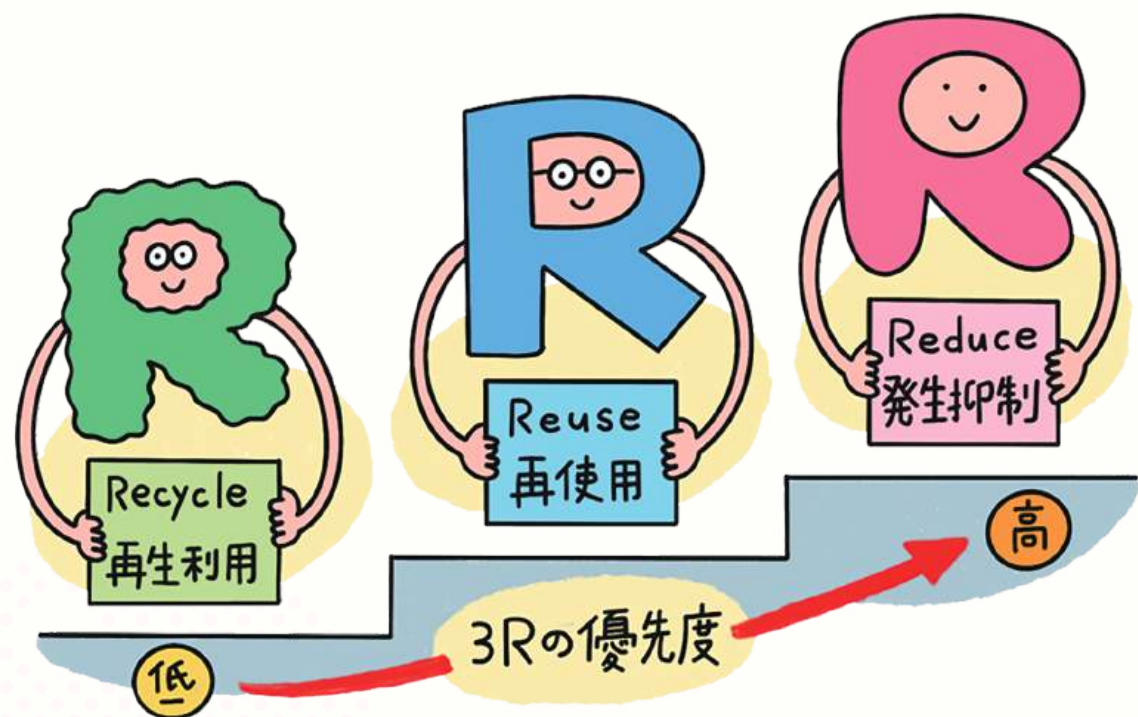
今は買っている電気でも、太陽光発電等の地球にやさしい再生可能エネルギーを使って自分たちで電気をつくることができます。自分で使う電気は自分でつくる、これが究極のエコ！



資源循環

■資源循環ってなに？

私たちの生活はたくさんの「資源」を使って作られたものに支えられています。そして、それらは使った後ごみになっています。ごみとして捨てられるものを減らしたり、捨てる時も正しく分別して「資源」として再利用する「資源循環」を進めたりすることによって、限りある資源を次の世代に残しておくことが大切です。



■プラスチックを減らすには？

プラスチックは、私たちの生活に欠かせない便利な素材ですが、私たちが使っているプラスチック製品の多くは石油から作られています。限りある資源を大切に使うため、必要な時に必要なだけ使ったり、いずれなくなってしまう石油ではなく再生可能な資源から作られているプラスチックを選んだりすることが大切です。



調べてみよう！

「資源循環」について参考になる情報をのせていますので、調べてみましょう！！

01 ごみ分別度をじまんでできるまちに！

令和6年4月よりごみの分別を進めるためのアプリ「さんあ〜る」を導入しました。地区別のごみカレンダーやごみ出し情報をスマートフォンで検索できるアプリです。ぜひ使ってみよう！



02 3つの“R”で取り組もう！

Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）で“3R”！
“3R”は、限りある資源を大切に使い、持続可能な社会を目指していくための合言葉！



03 それって“ごみ”？“資源”？

3Rのためには、ごみをしっかり分別することが大切です。
いらなくなったものでも、リユースやリサイクルによって、再び活用することができるものもあります。



04 ボトルがボトルに生まれ変わる！

一度使ったペットボトルを資源としてリサイクルすることで、再びペットボトルとして利用することができます。
芦屋市でも、ペットボトルの水平リサイクル“ボトルtoボトル”に取り組んでいます。

